

団体名： 尾西商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考		
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価						
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度			補足	目標
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者への巡回及び窓口において効果的な経営改善普及事業を実施し、会員加入施策と組織の活性化並びに強化に努める。併せて、小規模事業者の経営課題把握に努め経営課題解決策に向けた提案・支援を継続的に実施する。	・巡回窓口指導実企業数 574社 （内 非会員 82社） ・巡回窓口指導延件数 1232件 （内 非会員 115件） ・課題解決提案件数 31件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 （達成度 205.3 %）	600	1232	指標 課題解決提案件数 （達成度 103.3 %）	30	31	小規模事業者へ効果的に各種施策普及と支援を実施し、地域の振興と小規模事業者の経営の安定に寄与した。	総合評価	B	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 B 必要性 B	満足度 B	補足	目標 両方現状維持 実施方法 現状どおり	小規模事業者の経営安定につながる、効果的な経営改善普及事業の実施と経営課題の把握に努め課題解決に向けた提案・支援を実施していく。
記帳継続指導	税務知識に対する正しい理解と認識を深め、自力で適切な納税申告を行えるよう指導する。	・指導対象者数（企業数） 155件 ・決算指導 93件 ・指導延日数 563日 ・指導延回数 1,676回	小規模事業者	指標 記帳申込者数 （達成度 124.0 %）	200	248	指標 （達成度 %）			小規模事業者への効果的な税務指導を行うことにより、事業経営者の経営の安定に寄与した。	総合評価	B	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 B 必要性 B	満足度 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現状どおり	小規模事業者の税務知識の向上を図るため、継続的な機長指導を引き継ぎ実施していく。
講習会事業	小規模事業者にとって必要な知識や技術の習得及び時事的テーマでの講習会を開催し、参加者の資質向上を図る。	講習会開催回数及び受講者数 集 団 11回 263人 個 別 16回 190人 計 27回 453人	小規模事業者	指標 受講延人数 （達成度 153.6 %）	295	453	指標 （達成度 %）			講習会を開催することにより、情報提供や基礎的な知識を習得し、小規模事業者の経営体質強化の推進と安定に寄与した。	総合評価	B	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 B 必要性 B	満足度 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現状どおり	小規模事業者にとって必要な知識・技術の習得を目的として実施する。個別講習会（金融）の開催は定期開催から都度開催に変更し対応する。
地域振興事業	各種イベントを開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、地域の総合的な振興を図る。	・尾西あじさいまつり（6月10日～17日開催 来場者数 14,000人） ・濃尾大花火（8月14日開催 来場者数 190,000人） ・びさいまつり（10月21日・22日開催 来場者数 15,000人） ・ホワイトイルミネーション（12月9～24日開催 来場者数 6,000人）	小規模事業者	指標 事業数 （達成度 100.0 %）	4	4	指標 （達成度 %）			各種イベントを開催することにより、来場者などによって地区商業者の売上向上が図られ、併せて地域経済活動の活性化に寄与した。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 B	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現状どおり	地域経済活動の活性化を図るため今後も実施していく。
異業種交流事業	小規模事業者の新たなビジネスチャンスを創出するため、異業種の交流を図る。	・花見の集い（4月7日開催81人） ・会員親睦ゴルフ大会（11月7日開催 43名参加） ・新年賀詞交歓会（1月4日開催130名参加） ・初詣（1月26日開催 84名参加）	小規模事業者	指標 異業種交流事業数 （達成度 100.0 %）	4	4	指標 （達成度 %）			小規模事業者の交流の場を提供することにより、新たなビジネスチャンスを創出した。	総合評価	B	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 B 必要性 B	満足度 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現状どおり	異業種の交流の場を創出することによって、新たなビジネスチャンスを創出し、売り上げ増加を図るため今後も実施していく。
情報収集提供事業	小規模事業者対策の施策利用を促すため、また、商工会の事業活動を周知するための手立てとして、商工会報を発行する。また、商工会ホームページやFMラジオ放送を有効に活用し施策制度の周知にも努める。	商工会報を年間4回（5/30、9/25、12/22、3/30）発行し、会員及び未加入者を中心に配布 合計 5,600部 商工会ホームページでの会報閲覧及びFM放送（毎週火曜日放送）などを利用し各種施策制度についても広く周知を行っている。	小規模事業者	指標 発行部数 （達成度 100.0 %）	5600	5600	指標 （達成度 %）			定期的に情報発信することにより施策普及が図られ、商工会事業活動の周知も図られた。	総合評価	B	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 B 必要性 B	満足度 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現状どおり	目標数値を発行部数から、情報提供媒体数に変更する。小規模事業者への情報発信を今後も積極的に行っていく。
雇用促進事業	会員事業所の従業員の功績を表彰する機会を設け、その勤労意欲の高揚や定着率の向上を図る。	事業所から推薦のあった候補者を表彰要綱に照らし、愛知県知事賞・一宮市長賞・商工会長賞の表彰を平成29年5月22日通常総代会開催日に実施。 ・推薦事業所 6事業所 ・被表彰者 8人	会員事業所従業員	指標 推薦事業所数 （達成度 200.0 %）	3	6	指標 被表彰者数 （達成度 160.0 %）	5	8	会員事業所の従業員を表彰することにより他の従業員の模範となり、従業員の勤労意欲の高揚と会員事業所への定着率の向上が図られた。	総合評価	B	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 B 必要性 B	満足度 B	補足	目標 両方現状維持 実施方法 両方現状どおり	従業員の勤労意欲高揚のため今後も継続実施していく。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 尾西商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考						
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価									
人材育成事業	全国商工会連合会主催の珠算検定の普及・推進を図り地域の方々の様々な能力を見出すことを目的として実施する。	・珠算検定 受験者数 151名	地区内珠算学校生徒及び一般	指標	受験者数 (達成度 100.7 %)			指標	(達成度 %)			珠算教育の進歩向上を図ると共に、地域の優良人材育成が図られた。	総合評価	B	事業 評価 の 結果	自己評価	調査結果 への	満足度	補足	目標	人材育成等のため 今後も継続実施し ていく。
				目標 数値	150	実績 数値	151	目標 数値		実績 数値						A		B		必要性	
健康普及事業	会員及びその従業員はじめ市民の健康増進を図ることを目的とし、ウォーキング大会を開催する。	尾西もみじウォーキング大会 (11月18日開催 参加者124名)	会員及びその従業員・家族	指標	健康普及事業数 (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			健康普及事業を開催することにより、参加した会員及びその従業員・家族をはじめ市民の方々の健康増進に寄与した。	総合評価	B	事業 評価 の 結果	自己評価	調査結果 への	満足度	補足	目標	会員及びその従業員等の健康増進のため今後も継続実施していく。
				目標 数値	1	実績 数値	1	目標 数値		実績 数値						A		B		必要性	
青年部・女性部事業	部員の自己研鑽と部員相互の交流を図り、ビジネスチャンスの創出や社会福祉を通じて地域との関わりをもつことにより、魅力ある街づくりを目指し取り組みを行う。	青年部役員会等 11回 75名 女性部役員会等 41回 293名	小規模事業者を中心とした青年部員・女性部員	指標	青年部役員会等活動回数 (達成度 157.1 %)			指標	女性部役員会等活動回数 (達成度 273.3 %)			事業を通じて地域との絆・部員同士の絆が図られ合わせて地域活性化に寄与した。	総合評価	B	事業 評価 の 結果	自己評価	調査結果 への	満足度	補足	目標	部員の自己研鑽と地域の活性化を図ることを目的として実施していく。
				目標 数値	7	実績 数値	11	目標 数値	15	実績 数値	41					A		B		必要性	
労働保険事業	商工会では国の認可を受けて、会員サービスの一環として事務組合を運営している。労働保険事務組合は、雇用保険や労災保険の加入手続き、保険料の申告、納付に関する手続き、雇用保険の被保険者に関する手続き等を事業主に代わって行うことで、事業主の事務処理面の負担を軽減するとともに、労働者と一緒に働いている中小事業主や家族従業員も労災保険に加入できるメリットがある。	①委託事業場の労働保険料の申告・納付 ②未適事業場の労働保険成立手続き ③雇用保険の被保険者に関する手続き等 適用件数70件	会員及びその従業員・家族	指標	処理件数 (達成度 114.8 %)			指標	(達成度 %)			労働保険料の申告・納税等の労働保険事務を事業主に代わって処理することで事業主の事務処理の負担軽減を図った。	総合評価	A	事業 評価 の 結果	自己評価	調査結果 への	満足度	補足	目標	事業主の労働保険に関する事務の負担軽減とメリットを図れる事業であり、引き続き実施をしていく。
				目標 数値	61	実績 数値	70	目標 数値		実績 数値						A		B		必要性	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。